平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名　ソースネクスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4344　URL　http://www.sourcenext.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松田　憲幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役アドミニストレーショングループ担当常務執行役員　(氏名) 青山　文彦　TEL 03-6430-6406

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,013	△4.3	649	174.3	617	174.1	644	222.7
24年3月期第3四半期	4,193	36.8	236	―	225	―	199	△37.0

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　645百万円　(223.2%)　24年3月期第3四半期　199百万円　(△37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	40.62	―
24年3月期第3四半期	12.59	―

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,547	1,397	39.4
24年3月期	3,064	751	24.5

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　1,397百万円　24年3月期　751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	△3.5	700	132.7	660	147.5	695	65.1	43.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、平成25年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が期首に行なわれたと仮定して算定)。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行なっており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	15,866,000 株	24年3月期	15,866,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	15,866,000 株	24年3月期3Q	15,866,000 株

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記発行済株式数(普通株式)につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定してそれぞれ算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
(その他特記事項)
平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、平成25年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。
・株式分割前の当社発行済株式総数 158,660株
・今回の分割により増加する株式数 15,707,340株
・株式分割後の当社発行済株式総数 15,866,000株

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、緩やかな回復基調が見られたものの、欧州での債務問題や世界の経済成長の減速懸念など、依然として企業を取り巻く厳しい環境が継続しており、先行不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、当第３四半期連結累計期間におけるパソコンソフトウェア市場の店頭販売本数は、前年同四半期比89.7%（※）と厳しい状況で推移いたしました。一方、JEITAの発表によると、当第３四半期連結累計期間におけるパソコン出荷台数は、法人向けのリプレース需要が堅調に推移したほか、個人向けはノート型を中心に回復基調となり、前年同四半期比100.0%と前年同期並みの実績となりました。

こうした状況の中、当社グループは、製品面におきましては、当社製品を平成24年10月に発売された次世代プラットフォーム「Windows 8」に対応させるべく準備を進めて参りました。主力製品である「ウイルスセキュリティZERO」及び「スーパーセキュリティZERO」につきましては、「Windows 8」対応版の販売を６月より店頭及びソースネクストeSHOPにて開始しております。さらに、８月に「筆王」並びに９月に「いきなりPDF」シリーズの新作を発売いたしました。「筆王」につきましては、店頭での展開強化を推し進めた結果、ハガキジャンルにおいて平成24年製品別年間店頭販売本数第１位（※）を獲得いたしました。なお、その他の製品につきましても順次対応が完了しております。また、急速に市場を伸ばしているスマートフォン向けアプリケーションの開発及び販売に注力し、当第３四半期連結累計期間におきましては、新たに「Android厳選アプリ」シリーズとして７タイトルの新製品を発売しております。

損益面におきましては、前連結会計年度に引き続き、利益構造及び財務体質の改善に取り組み、収益性及び安全性が大幅に改善しております。

このような施策を行なった結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は40億13百万円となり、経常利益は前年同四半期比2.7倍の６億17百万円、四半期純利益は、前年同四半期比3.2倍の６億44百万円となりました。

※ジーエフケーマーケティングサービスジャパン調べ全国有力家電量販店販売実績の集計結果に基づく

以下、店頭販売本数及び販売本数シェア、店頭販売金額も同様

①売上高

当社製品を平成24年10月に発売された次世代プラットフォーム「Windows 8」に対応させるべく開発を進めて参りました。主力製品である「ウイルスセキュリティZERO」及び「スーパーセキュリティZERO」につきましては、「Windows 8」対応版の販売を6月より店頭及びソースネクストeSHOPにて開始しております。店頭におきましては、店舗ラウンディング体制を見直すことで店頭での展開強化を図り、また、ソースネクストeSHOPでは、既存ユーザー向けに「Windows 8」対応版へのアップグレードキーの販売を開始しております。その結果、当第３四半期連結累計期間におけるセキュリティ製品の店頭販売本数は、セキュリティソフト市場全体が前年同四半期比93.7%で推移したのに対し、当社は前年同四半期比100.7%で推移し、販売本数シェアは22.1%と前年同四半期の20.5%と比較し1.5ポイント増加しました。さらに、店頭販売金額は、「ウイルスセキュリティZERO」と比較して高価格帯である「スーパーセキュリティZERO」の販売が好調だったことにより、セキュリティソフト市場全体が前年同四半期比96.5%で推移したのに対し、当社は前年同四半期比114.0%で推移いたしました。

また、９月には「筆王 Ver.17」を発売いたしました。製品ラインアップの整理と店頭での展開強化を推し進めた結果、ハガキジャンルにおいて平成24年製品別年間店頭販売本数第１位を獲得し、さらにソースネクストeSHOPでは、製品のバージョンアップの購入導線を見直しすることにより、アップグレードキーの売上が好調に推移いたしました。

さらに、前連結会計年度に発売したスマートフォン向けアプリケーションの開発及び販売に注力して参りました。当第３四半期連結累計期間におきましては、新たに「Android厳選アプリ」シリーズとして７タイトルの新製品を発売し、KDDI株式会社が提供するAndroidスマートフォン向け月額サービス「auスマートパス」や店頭での展開強化を推し進めた結果、売上高が好調に推移いたしました。

上記の通り、付加価値の高いソフトウェア製品の販売及びサービスの提供を重点的に強化したことにより、利益率の向上及び利益額の増加を図って参りました。一方、ソースネクストeSHOPで販売する粗利率が相対的に低いパソコン関連機器を中心としたハードウェア等の仕入販売は前年同期比で減少いたしました。結果として、当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比１億80百万円減の40億13百万円（前年同四半期比4.3%減）となったものの、前年同四半期と比べ利益率は上昇し、利益額は大幅に増加いたしました。

②売上総利益

店頭在庫の適正化及び生産プロセス・出荷プロセスの見直しにより、返品率が改善し、製品評価損及び製品廃棄損が大幅に減少いたしました。また、付加価値の高い「スーパーセキュリティZERO」や「Android厳選アプリ」シリーズの売上が好調だったことにより、売上総利益率が67.2%となり、前年同四半期の53.5%と比べ13.7ポイント

増加しております。その結果、当第３四半期連結累計期間における売上総利益は、26億96百万円（前年同四半期比20.2％増）となり、前年同四半期と比べ大幅に増加いたしました。

③営業利益

スマートフォン向けアプリケーションの開発を積極的に行なった結果、研究開発費が増加いたしました。また、店頭での展開強化のため販促物の刷新等を行なったことにより、販売促進費及び広告宣伝費が増加しております。一方で、「筆王」の商標権の償却期間が終了したことによる償却費の減少や、在庫の適正化を推し進めてきた結果、在庫数量が大幅に減少し保管料が減少するなど、固定費が減少しております。その結果、当第３四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は、20億46百万円となり、前年同四半期と比べ2.0％増加しましたが、売上総利益が前年同四半期と比べ大幅に増加したことにより、営業利益は、６億49百万円（前年同四半期比174.3％増）となりました。

④経常利益

当第３四半期連結累計期間における経常利益は、前年同四半期比2.7倍の６億17百万円（前年同四半期比174.1％増）となりました。また、経常利益率は15.4％と前年同四半期の5.4％と比べ10.0ポイント増加となり、大幅に上昇しております。

⑤四半期純利益

前連結会計年度末より繰延税金資産を計上しております。当第３四半期連結累計期間においては、経常利益の増加に加え、法人税等調整額（貸方）89百万円を計上したことにより、当第３四半期連結累計期間における四半期純利益は、前年同四半期比3.2倍の６億44百万円（前年同四半期比222.7％増）となり、前年同四半期と比べ大幅に増加いたしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ４億83百万円増加し、35億47百万円となりました。流動資産は４億60百万円増加して25億87百万円、固定資産は22百万円増加して９億60百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加１億21百万円、受取手形及び売掛金の増加３億13百万円、商品及び製品の減少44百万円、前渡金の減少34百万円、繰延税金資産（流動）の増加87百万円によるものであります。固定資産の増加の主な要因は、ソフトウェアの増加11百万円によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計期間末に比べ１億62百万円減少し、21億50百万円となりました。流動負債は、７億65百万円減少して15億42百万円、固定負債は６億２百万円増加して６億８百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、平成24年７月にシンジケートローンによる長期借入を行なったことや、その他借入金の返済などにより短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金の減少９億75百万円、未払金の増加１億57百万円、未払法人税等の増加44百万円によるものであります。固定負債の増加の主な要因は、シンジケートローンによる長期借入金の増加６億７百万円によるものであります。なお、上記の結果、当座比率が前連結会計年度末より64.1ポイント増加し136.6％、流動比率が前連結会計年度末より75.6ポイント増加し167.8％となり、財務構造が大幅に改善しております。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ６億45百万円増加し、13億97百万円となりました。純資産の増加の要因は、四半期純利益６億44百万円によるものであります。なお、純資産の増加により自己資本比率は39.4％となり、前連結会計年度末24.5％と比べ14.8ポイント増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

前連結会計年度より販売を開始しておりますスマートフォン向けアプリケーションの売上高が、予想を大幅に上回る水準で推移しており、当第３四半期連結累計期間では前年同四半期比８倍を超えております。また、平成24年９月に発売した主力製品であるハガキ作成ソフト「筆王」の最新版「筆王 Ver.17」が、ハガキジャンルにおいて平成24年製品別年間累計店頭販売本数第１位を獲得し、予想を上回る水準で推移しております。

これらの要因により、営業利益、経常利益、当期純利益は、それぞれ前期比2.33倍、2.47倍、1.65倍となる見込みとなり、予想を大幅に上回る見込みとなりました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積の変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,328	1,088,609
受取手形及び売掛金	704,715	1,017,974
商品及び製品	108,616	63,772
原材料及び貯蔵品	18,368	21,559
前渡金	131,773	97,147
繰延税金資産	149,572	237,067
その他	46,556	61,465
流動資産合計	2,126,931	2,587,596
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	191,723	199,799
減価償却累計額	△141,458	△158,607
有形固定資産合計	50,265	41,191
無形固定資産		
ソフトウエア	614,860	626,246
その他	67,270	89,675
無形固定資産合計	682,130	715,922
投資その他の資産		
繰延税金資産	31,956	33,496
その他	173,526	169,786
投資その他の資産合計	205,482	203,283
固定資産合計	937,879	960,396
資産合計	3,064,810	3,547,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,469	214,271
短期借入金	384,790	184,240
1年内返済予定の長期借入金	1,127,082	352,128
未払金	250,798	408,793
未払法人税等	9,018	53,532
賞与引当金	3,015	6,625
返品調整引当金	79,141	108,974
アフターサービス引当金	62,586	65,384
在外子会社清算損失引当金	3,859	725
その他	182,637	147,700
流動負債合計	2,307,398	1,542,375
固定負債		
長期借入金	－	607,840
その他	5,421	442
固定負債合計	5,421	608,282
負債合計	2,312,819	2,150,658

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	△2,630,462	△1,986,035
株主資本合計	751,991	1,396,417
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	－	916
その他の包括利益累計額合計	－	916
純資産合計	751,991	1,397,334
負債純資産合計	3,064,810	3,547,992

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	4,193,575	4,013,142
売上原価	1,855,228	1,287,261
売上総利益	2,338,346	2,725,881
返品調整引当金繰入額	206,280	108,974
返品調整引当金戻入額	110,153	79,141
差引売上総利益	2,242,219	2,696,048
販売費及び一般管理費	2,005,246	2,046,087
営業利益	236,973	649,960
営業外収益		
受取利息	44	198
為替差益	20,256	－
債務勘定整理益	－	5,488
在外子会社清算損失引当金戻入額	－	3,133
その他	1,123	98
営業外収益合計	21,423	8,918
営業外費用		
支払利息	31,941	21,833
為替差損	－	3,886
支払手数料	－	15,000
その他	1,191	710
営業外費用合計	33,133	41,430
経常利益	225,263	617,448
特別損失		
前渡金評価損	19,957	13,562
減損損失	3,790	－
特別損失合計	23,748	13,562
税金等調整前四半期純利益	201,514	603,885
法人税、住民税及び事業税	1,813	48,494
法人税等調整額	－	△89,035
法人税等合計	1,813	△40,540
少数株主損益調整前四半期純利益	199,700	644,426
四半期純利益	199,700	644,426

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	199,700	644,426
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	－	916
その他の包括利益合計	－	916
四半期包括利益	199,700	645,343
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,700	645,343
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）重要な後発事象

該当事項はありません。